



JRAT

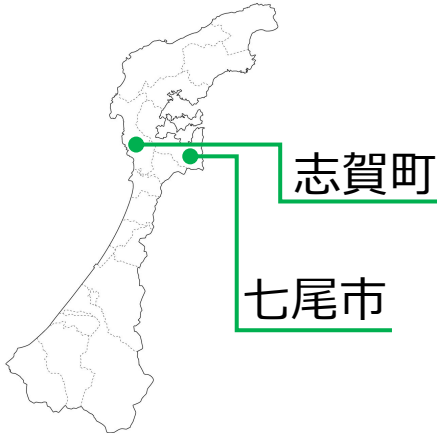
東京都JRAT 第7隊

# 能登半島地震活動報告

公益社団法人地域医療振興協会  
東京北医療センター



JADECOM



私たちは4名（PT2名、OT1名、ST1名）で3月5日～7日の3日間、志賀町・七尾市を中心に避難所を周り、発災前から普及していた地域体操の実施や実施状況確認・分析、環境調整等を実施してきました。言語聴覚士が帯同していたこともあり、被災された介護医療院や在宅での嚥下機能評価やポジショニング指導、介助方法指導も実施しました。

## 【ミーティングでの情報共有】

七尾市、志賀町ではそれぞれ朝に各団体が集まり、どの団体がどの避難所を巡回するのかなど、当日の支援スケジュールの共有がされていました。夕方の会議では、その日の課題などを全体で共有し、翌日以降の活動に生かすようにしていました。

## 【避難所での環境調整】

避難所によっては少しずつ自宅に帰られている方もおり、避難所の環境も少しずつ変化しています。人が溢れていたことで気付きにくかった環境の再調整が必要になる場面もありました。また、仮設の入浴設備も作られてきていましたが、段差が高かったり、浴槽が深かったりと、調整が必要な部分がありました。

## 【避難所での地域体操の実施や実施状況確認】

避難所では各避難所ごとに時間を決めて、地域体操に取り組んでいました。ラジオ体操と併せて実施している避難所もありました。地域体操指導士も発災前から養成されており、その方々と協働して、不活発予防に努めました。